

◎犬山市教育振興基本計画(犬山かがやきプラン)改訂版 骨子(案)

第1章 教育振興基本計画の改訂にあたって

1. 計画改訂の趣旨
2. 計画の位置づけ
3. 計画の期間

第2章 犬山の教育の基本的な考え

1. 基本理念 【生涯にわたって自ら学び続ける感性豊かなひとづくり】
2. めざす姿
【子ども像、教師像、学校像、教育委員会像、地域像、家庭像など】
3. 取り組みの方向性
【「学ぶ」「繋がる」「創る」の3つの視点を重視した取り組み】

第3章 今後5年間の重点施策と具体的な取り組み

1. 施策の体系
2. 学びの芽を育む 【子ども未来課中心に記載】
3. 学びの心を育む 【学校教育課中心に記載】
現状と課題 【児童生徒数の推移等の資料も掲載】
目標1 ○○○○○○○を育みます。
施策1 ○○○○○○○○の充実
 - ① ○○○○○○○○
 - ② ○○○○○○○○
4. 学びを深める 【文化スポーツ課中心に記載】
5. 学びを広げる 【歴史まちづくり課中心に記載】

第4章 計画の推進にあたって

1. 推進体制の強化
2. 計画の進行管理及び点検・評価

○犬山市教育振興基本計画に位置づける基本理念の実現に向けためざす姿について

●めざす子ども像 自ら学ぶ力を身につけた子ども

自ら学ぶ力を身につけた子どもとは、基礎的な学力を身につけ、家族や友達を大事にし、地域を支え、自分の人生を大切にするとともに、生涯にわたって自ら学び続けようとする資質や能力を身につけた感性豊かな子どもです。

●めざす教師像 自ら学び続ける教師

自ら学び続ける教師は、日常の授業や子どもの育ちを振り返り、学び合う教師集団が教師同士で成果を共有したり高め合ったりして常に切磋琢磨しながら自らを向上させます。そして、教師相互の人間関係に支えられた内からの動機づけで継続的に授業に工夫を凝らし改善を重ね続けます。

●めざす学校像 自立する学校

自立する学校は、教育委員会の支援のもとで、教育課程や学級編制などを創意工夫し、室の高い安定した日常が提供できるようにします。そして、「子どもが通いたい学校」「親が通わせたい学校」「教師が働きがいをもてる学校」「地域に信頼される学校」「学びの文化を根づかせる学校」をつくります。

●めざす教育委員会像 市民の信頼と期待に応える教育委員会

教育委員会は、教育の政治的中立性と継続性を確保しつつ、教育に対する市民の信頼と期待に応え、より開かれた教育行政を推進するため、積極的に思考し行動します。赤ちゃんからお年寄りまで切れ目のない一貫した学びを提供できるように、子ども未来課、学校教育課、文化スポーツ課、歴史まちづくり課が繋がりを重視し、関係機関との綿密な連携を図って、学びのまちづくりを進めます。

●めざす地域像 子どもや家庭をみんなで支える地域

地域の中で誰もが参加し活躍できる場をつくり、衰退している地域の子育てネットワークを再構築し、地域における子どもの見守り活動の推進やスポーツ団体、文化活動団体等との連携により、地域の子は地域で育てるという意識を高く、犬山では安心して子育てができます。

●めざす家庭像 やすらぎとふれあいのある家庭

家庭は、子どもの健やかな育ちの基盤です。家庭教育はすべての教育の出発点であり、未来を担う子どもたちへの大切な贈り物です。子どもが家族のふれあいを通じて、基本的な生活習慣や生活能力、豊かな情操、他人への思いやり、基本的な倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身に付けていく上で重要な役割を果たします。常に子どもの心のよりどころとなるよう、日常の家庭生活を大切にしています。

●めざす行政像